

開発エリア「下北線路街」のまちづくりに関するお知らせ

下北沢駅南西口のライフスタイル提案型施設のテーマを決定！

4月22日、世田谷代田に地域ゆかりの飲食店の姉妹店「^{がっしん ゆ あん}合心酉庵」オープン

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）が開発を推進する「下北線路街」では、2021年11月に開業を予定する下北沢駅南西口すぐの開発エリア08「コミュニティをつくるライフスタイル提案型施設（商業）」における施設テーマを決定しましたのでお知らせします。

また、4月22日（木）には、世田谷代田周辺の開発エリア04に、下北沢の蕎麦の名店「打心蕎麦」の姉妹店として「合心酉庵」がオープンしました。

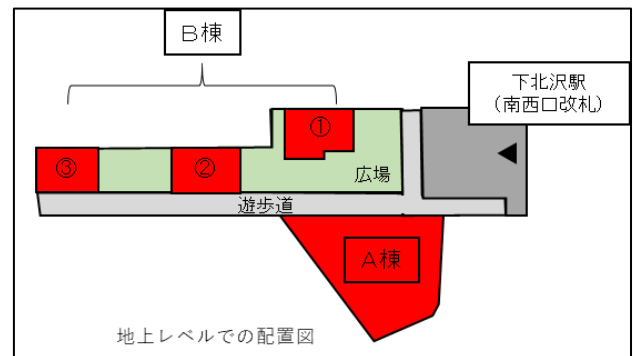
11月、開発エリア08に「まちのラウンジ」と「地域の暮らしを豊かにする“食”」をテーマにした施設が開業します

開発エリア08「コミュニティをつくるライフスタイル提案型施設（商業）」は、下北沢駅南西口すぐ、また、「下北線路街」のおよそ中心に位置します。ここへ、5階建ての建物A棟、一部2階建ての建物B棟を計画し、2021年11月の開業に向け準備を進めています。

核となるA棟のテーマは「まちのラウンジ」、名称は「(tefu) lounge」（テフ ラウンジ）です。仕事、勉強、読書、お茶、語らいなど、個人が思い思いの形で使える

ラウンジスペースを中心にした複合施設であり、グローサリーショップ、ロースタリー、イベントスペース、ミニシアターなどで構成予定です。B棟については、3軒の建物が連携し、「地域の暮らしを豊かにする“食”」をテーマに、公募による事業者や、地域にゆかりのある事業者を迎え、カフェや食物販の構成を予定しています。各テナントの詳細は、決まり次第改めてお知らせします。

A棟とB棟は一体的な建物デザインや地上レベルでの回遊に加えて、A棟と開発エリア09「シモキタエキウエ」をデッキで接続し、A棟とB棟①を2階レベルで繋ぎます。また、B棟②・B棟③の屋上部分を遊歩道として整備し、B棟④の2階と結ぶことで、駅周辺エリアの回遊性を高める配置としています。



シモキタエキウエから見たA棟（左）とB棟①（右）の外観パース



下北沢駅南西口改札から見たB棟①（正面）と広場の外観パース



地上レベルから見たB棟②（手前）とB棟③（奥側）の外観パース

また、「(tefu) lounge」は、さまざまな方にとっての新たな居場所を目指しており、そこで生まれるコミュニティからさらなる多様性を育み、シモキタエリアの魅力を引き出してまいります。

A棟に誕生する「(tefu) lounge」の概要は以下のとおりです。

「(tefu) lounge」概要

所在地	東京都世田谷区北沢2丁目1085-2（シモキタエキウエ直結）
規模・構造	鉄骨造 5階建
延床面積	約1,620㎡ ※専有面積 約1,250㎡
施設	1階：グローサリーショップ、ロースタリー（予定） 2階：イベントスペース、ミニシアター（1スクリーン・70席〔予定〕） 時間貸ラウンジ 3階：時間貸ラウンジ、シェアオフィス 4階・5階：シェアオフィス、レンタルスペース
建築主	小田急電鉄株式会社
企画	UDS株式会社
基本設計・デザイン監修	UDS株式会社
実施設計・施工	株式会社フジタ
運営	UDS株式会社

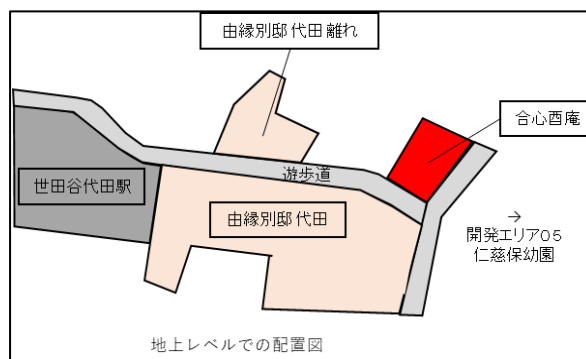
「(tefu) lounge」名称の由来

tefu の名前は蝶の旧かなづかい「てふ」からきています。「蝶が羽ばたけば、はるか彼方で大きな風がふく」と言われるように、一人ひとりの小さな選択や行動（羽ばたき）は確実にまちに、そして社会に繋がり影響を与えていきます。(tefu) lounge は、カフェでもコワーキングスペースでもない新たな居場所として、より豊かな時間が生まれ繋がっていく場所にしたいという意味を込めています。

[Info] 世田谷代田駅至近、開発エリア 04 に下北沢の名店「打心蕎庵」の姉妹店、「合心酉庵」がオープン

開発エリア 04 に、2021 年 4 月 22 日（木）、下北沢の蕎麦の名店「打心蕎庵」の姉妹店、「合心酉庵（がっしんゆあん）」がオープンしました。

「合心酉庵」は、鶏や鴨を中心としたメニューを展開する鶏料理の専門店です。木に囲まれたナチュラルな雰囲気のもとお一人さまからご家族までさまざまなシーンに対応し、地域に根付くお店を目指しています。



緑豊かで落ち着いたある世田谷エリアに馴染むお店となるよう平屋の木造で建築し、2020 年 9 月にオープンした温泉旅館「由縁別邸 代田」と一体的に計画を進めてきました。地域ならではの魅力を創出するために、「打心蕎庵」のオーナーをパートナーとして迎え、姉妹店を開業するに至りました。



外観



内観

「合心酉庵」の概要は下記の通りです。

「合心酉庵（がっしんゆあん）」概要

<建物>

所在地	東京都世田谷区代田 5-6-22
構造・規模	木造一部鉄骨造 平屋建
延床面積	約 100.63 ㎡（併設の住宅部分含む）
建築主	小田急電鉄株式会社
基本計画	UDS 株式会社
設計・施工	株式会社ワクト

<お店>

出店者	株式会社松ヶ根
開業日	2021 年 4 月 22 日（木）
営業時間	15:00～20:00（定休日：月曜日） ※今後変更になる可能性があります
内容	鶏料理専門店。「打心蕎庵」の姉妹店

「合心酉庵」名称の由来

小田急線の地上の線路跡地の開発によって世田谷代田～東北沢駅間が繋がることを歓迎し、地域の一人ひとりが「心を合わせて（合心）」みんなでまちを盛り上げていくために、お客さま同士やお店のスタッフの交流の場となるような想いを込めています。また、「酉」は鶏料理をメインにすることを意味し、「庵」の文字と合わせて、既存店「打心蕎庵」との姉妹店であることを意味しています。

以 上

「下北線路街ニュース」について

小田急電鉄は、小田急小田原線の代々木上原駅から梅ヶ丘駅間の鉄道地下形式による連続立体交差事業（事業者：東京都）および複々線化事業により新たに創出された鉄道跡地約 1.7 k m にわたる開発エリアの名称を「下北線路街」とし、2021 年中に 13 の施設を整備します（一部を除く）。

各開発施設の進捗状況に加え、エリア内でのイベント情報やエリアマネジメントなどまちづくり全般の情報を、「下北線路街ニュース」として、月 1 回を目途に定期配信します。

「下北線路街」について

1. エリア名称 「下北線路街」



下北線路街

2. 対象エリア 小田急小田原線 東北沢駅～世田谷代田駅
3. 敷地面積 約 27,500 m²
※ 連続立体交差事業および複々線化事業に伴う世田谷区・渋谷区内の土地
※ 交差道路、鉄道施設にかかる面積は除く
4. 開発テーマ 「支援型開発」 “変える”のではなく、街への“支援”を目指して。
5. 開発コンセプト 「BE YOU.」 シモキタらしく。ジブンらしく。

いろんな人が、自分らしく生きている街、シモキタ。

ここまで多様性にあふれている場所は、日本中を見渡しても、そうそう存在しません。

そんなシモキタの魅力がそのまま未来に息づきながら、

より多くの人がつながり合って、それぞれの心地いい場所がふえていく。

そのためのきっかけをつくったり、新たなチャレンジを後押しできる拠点となることを目指して、当開発プロジェクトは走り出しました。

6. 公式サイト URL: <https://senrogai.com/>

「下北線路街」各施設の概要



No.	名称（エリア内主な施設）	概要	開業時期（予定） 下線は開業済	規模 （㎡は延床面積）
01	リージア代田テラス	豊かな世田谷ライフを叶える テラスハウス	2016年2月	2階建 約700㎡
02	世田谷代田キャンパス	食でつながる地域の コミュニティハブ	2019年4月	2階建 約400㎡
03	KALDINO	世田谷代田が発祥の「カルディ」に よるテストキッチン&カフェ	2020年1月	2階建 約300㎡
04	温泉旅館 由縁別邸 代田	都心に突如現れる温泉旅館	2020年9月	2階建（一部3階） 約2,000㎡
05	世田谷代田 仁慈保幼稚園	地域とつながる 保育施設&コミュニティの場	2020年4月	2階建 約1,400㎡
06	BONUS TRACK	新たなチャレンジや 個人の商いを応援する長屋 （住宅・商業）	2020年4月	2階建 約900㎡
07	SHIMOKITA COLLEGE	新たな出会いと学びを提供する 居住型教育施設（学生寮）	2020年12月	5階建 約2,500㎡
08	(tefu) lounge （テフ ラウンジ）	コミュニティをつくる ライフスタイル提案型施設（商業）	2021年11月	5階建 約1,700㎡
09	シモキタエキウエ	シモキタならではの 多様性あふれる商業施設	2019年11月	2階建 約1,500㎡
10	下北線路街 空き地	みんなでつくる自由なあそび場	2019年9月～ 当面の間	約1,400㎡
11	未定	洗練された個店が集まる 次世代型の商業ゾーン	2021年中※	2階建 約1,900㎡
12	未定	シモキタカルチャーを加速させる エンタメカフェ	2021年中※	1階建 約400㎡
13	未定	さまざまな人が集まる都市型ホテル	2021年中※	2階建 約1,700㎡

※開発エリア 11～13 の開業時期は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら検討しています